

平成30年 7 月豪雨災害における 日本赤十字社広島県支部の活動



日本赤十字社広島県支部は発災直後から災害対策本部を設置。救護班の派遣のほか、
救援物資の配布などを行いました。
苦しんでいる人を救う活動に全力で取り組んでまいります。

7月7日

広島赤十字・原爆病院DMAT
安芸消防署から坂町横浜西へ



7月7日

広島県支部における 赤十字防災ボランティアの活動



7月8日 広島県支部救護班（広島赤十字・原爆
病院）が船で坂町へ



7月8日

広島県支部救護班が 坂町立小屋浦小学校で救護所開設



7月8日 坂町立小屋浦小学校周辺



7月9日

山口県支部救護班（山口赤十字病院）
が広島県支部へ参集



7月9日

坂町立小屋浦小学校での 山口県支部救護班の活動



7月10日 福岡県支部救護班（福岡赤十字病院）が
断水の続く三原市で救護所を開設
（本郷生涯学習センター）



7月11日

島根県支部救護班（益田赤十字病院）
が坂町立小屋浦小学校へ向け出発



7月12日

坂町立小屋浦小学校における島根県 支部救護班（益田赤十字病院）の活動



7月12日

赤十字防災ボランティアによる 救援物資の搬出



7月13日

坂町のサンスターホールにおける
福岡県支部救護班（福岡赤十字病院）
の活動



7月14日

安浦まちづくりセンターにおける
愛知県支部救護班（名古屋第二赤十字
病院）の活動



7月15日

天応まちづくりセンターにおける 愛知県支部救護班（名古屋第一赤十字 病院）の活動



7月15日

呉市天応地区周辺



7月15日

JRC（青少年赤十字）加盟校の 高校生による救援物資の搬出



7月16日

安浦まちづくりセンター周辺での
愛知県支部救護班（名古屋第二赤十字
病院）の巡回診療



7月17日

広島県支部救護班（庄原赤十字病院）
が救援物資の積込。坂町立小屋浦
小学校の体育館での救護活動



7月18日

広島県支部災害対策本部での日赤
災害医療コーディネーター



7月18日

広島県の医療救護班調整本部での日赤
災害医療コーディネーターと支部職員



7月19日

吉浦まちづくりセンターでの広島県
支部こころのケア班（広島赤十字・
原爆病院）の活動



7月20日

広島県支部の災害対策本部で
平成30年7月広島県豪雨災害義援金の
贈呈（沖縄市長・広島市立舟入高校）



7月21日

広島県支部における 赤十字防災ボランティアの活動



7月22日

広島県支部の災害対策本部にて救護班
の全体ミーティング（長野・富山・
石川・岐阜県支部救護班）



7月23日

断水が続く呉市川尻町へ給水システムを
搬送する熊本赤十字病院の技術スタッフ



7月24日

広島県安芸郡坂町小屋浦地区にて
大分県支部救護班（大分赤十字病院）
が在宅巡回



7月24日

呉市立川尻中学校にて
給水システムを構築し、洗濯機を設置



7月25日 呉市立天応小学校にて三重県支部こころのケア班（伊勢赤十字病院）が被災した生徒への接し方を教員へアドバイス



7月25日

安浦まちづくりセンターにおける
広島県支部こころのケア班（庄原
赤十字病院）の活動



7月26日

呉市立川尻中学校で無料の洗濯支援
サービスを実施



7月27日

呉市安浦地区周辺



7月28日

広島県支部から岡山赤十字病院へ救援
物資（毛布）を搬送する赤十字防災
ボランティア



7月29日

山口県支部救護班（小野田赤十字病院）
から広島県支部救護班（三原赤十字
病院）への業務引継



7月30日

広島市安芸区矢野地区周辺



7月31日

坂町立小屋浦小学校における広島県
支部救護班（三原赤十字病院）の活動



8月1日

日赤救護班から日本医師会災害医療 チーム（JMAT）への業務引継



8月2日

天応まちづくりセンターの救護所における日赤救護班の活動終了報告



8月3日

呉市医師会で安浦まちづくりセンター の救護所における日赤救護班の活動 終了報告



日本赤十字社広島県支部の活動まとめ（8月31日現在）



派遣した医療救護班
30班 220名 延べ822名



派遣した災害医療コーディネートチーム
11班 46名 延べ305名



派遣したこころのケア班
27班 97名 延べ549名

配布した物資

毛布

2,736



洗濯機（給水タンク含）

4台



枚

安眠セット

691セット



バスタオル

37枚



緊急セット

440



タオルケット

10枚



セット

その他、企業から無償提供いただいた熱中症対策用の経口補水液（OS-1）や

口腔ケア用のクリーンティッシュ等も避難所のニーズとマッチングを行い配布。

また、エコノミークラス症候群対策として、弾性ストッキングを配布するとともに、

専門的知見を有する医師が、避難所生活における助言等を実施



活動した赤十字ボランティア 61人

（救援物資などの搬送、事務支援ほか）

義援金受付状況（8月31日現在 広島県支部・本社受付分）

49億5885万8373円（8,372件）



平成30年7月豪雨災害における日本赤十字社広島県支部 救護所設置場所 ※（ ）は活動期間

平成30年8月31日現在



※ こころのケア班は、呉市や三原市内の避難所で活動を実施。(7月18日～8月31日)



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

広島県支部